

(2) JAEAと美浜原子力緊急事態支援センターが遠隔操作資機材貸与に関する覚書を締結

6月29日、美浜原子力緊急事態支援センターは、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）の原子力緊急事態支援組織（福島廃炉安全工学研究所 安全管理部）と「原子力緊急事態支援組織間の遠隔操作資機材貸与に関する覚書」を締結しました。

本覚書は、「原子力事業者防災業務計画」に定める遠隔操作資機材の必要数を確実に確保するため、原子力緊急事態支援組織間における遠隔操作資機材の貸与（相互利用）に関する事項を定めたものです。

本覚書の締結により、原子力緊急事態に備えた遠隔操作資機材の確保体制を強化することができました。

今後も、原子力緊急事態支援活動のさらなる高度化に取り組んでいきます。



左：JAEA 福島廃炉安全工学研究所
半谷安全管理部長
右：白石支援センター長（当時）

(3) 敦賀市民原子力研修を実施

7月8日、敦賀市が主催する市民原子力研修に、敦賀市立看護大学（以下、看護大学）の皆さまが参加されました。研修では、敦賀2号機の原子炉格納容器や、敦賀1号機の応急処置室をご見学いただきました。

また、発電所健康管理室の保健師から、発電所における応急処置や被ばく医療などの業務説明を行った後、看護大学の皆さまと発電所における医療対応等について意見交換を行いました。

今後も地域社会との交流を深め、地域社会に積極的に貢献してまいります。



敦賀2号機見学の様子



敦賀1号機応急処置室見学の様子

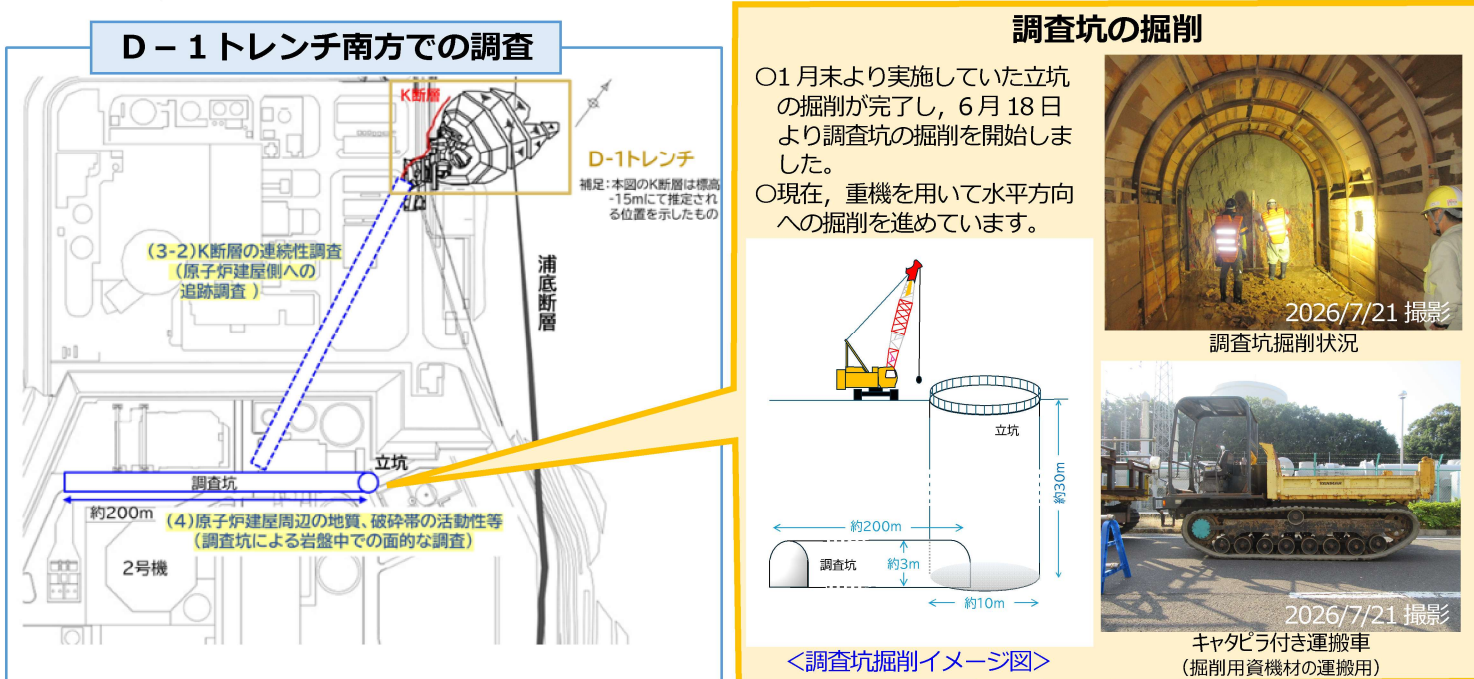


意見交換の様子

(4) 2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破砕帯等」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑の掘削作業を行っているものです。

引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。



4. コミュニケーション活動

「越前みなと大花火 2026」、「河野夏まつり」にブース出展

7月18日、越前漁港広場で開催された「越前みなと大花火 2026」、そして7月25日、甲楽城海水浴場で開催された「河野夏まつり」にブースを出展しました。両イベントにはそれぞれ約300名の方々にご来場いただき、夏の思い出として、撮影した写真を当社ロゴ入りの写真キーホルダーにしてお渡ししました。

当社は、今後も地域の行事に協力し、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めてまいります。



「越前みなと大花火」での様子



「河野夏まつり」での様子



写真キーホルダー作成風景

5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターの公開研修コースについて、以下はお申込み期限が近づいている主なコースです。

その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

公開研修コース	コース概要	研修期間	申込み期限
安全文化コース	原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理・技術者倫理や不祥事・トラブル事例などを題材として学びます。 原子力利用に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方への受講もお勧めします。	9月17日～ 9月18日 (1.5日間)	8月7日
現場管理コース	現場作業で必要となる労働安全・設備安全を確保するために必要な管理技術について、日常的に実践で役立つ事項及び異常時の措置方法などを学びます。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	10月1日 (1日間)	8月21日
配管補修工法コース	発電所の運転中にも適用できる配管の補修工法について、基準・規格の講義や実習を交え、実践に役立つ基本技能（管理ポイントなど）を学びます。	10月7日～ 10月8日 (2日間)	8月28日
振動診断コース	回転機械の振動診断に必要な基礎知識を習得するとともに、実習を通じて回転機械の振動診断の管理ポイントを学びます。	10月7日～ 10月8日 (2日間)	8月28日
原子力新技術コース	世界の原子力情勢と今後の展望、次世代炉の開発動向などについて学びます。なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	10月15日 (1日間)	9月4日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
TEL：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp



hari hari works & いろいろCreators ハンドメイド作品展

8月18日(火)～8月23日(日) *最終日は15:30まで

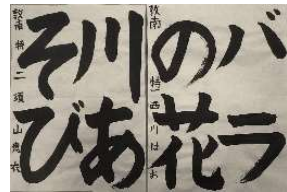
hari hari works & いろいろCreators(代表:堀井 唯 様)の皆様による, ハンドメイドクラフトの作品展です。様々なハンドメイドクラフトを楽しむ仲間の洋裁, フラワーアレンジメント, 編み物, 己書などの作品を 200 点展示予定です。



第20回八洲学童書展

8月25日(火)～8月30日(日)

幸光書道教室(代表:幸光 八洲 様)の皆様による作品展です。硬筆と毛筆で書かれた作品を 80 点展示予定です。



今年もご利用ください！クーリングシェルターご案内

2025年8月13日, 敦賀市と「気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定書」を締結し, 敦賀原子力館とげんでんふれあいギャラリーが, 「敦賀市クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)」に原子力関連企業の施設としては敦賀市, 福井県においても初めて指定されました。暑さをしのぐ場所として開放中ですので, ぜひご利用ください。

各施設の入口に, 指定標示が掲載されています▶



催し物や展示に関する
お申込み・お問合せ先

げんでんふれあいギャラリー(敦賀市本町2丁目9-16)
フリーダイヤル: 0120-749-201 FAX: 0770-25-5603
開館時間: 9:30～16:30 休館日: 12月29日～1月3日



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

イベントブース出展のお知らせ

2026 年 8 月イベント出展情報 お誘いあわせのうえ, ぜひお越しください。

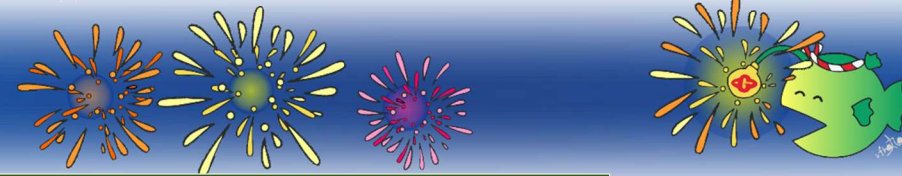
出展日	イベント名	会場	内容
8/22 (土)	エネ研でんこもり 2026 10:00～15:00 * 荒天の場合は翌日に順延	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター (敦賀市長谷 64-52-1)	・放射線測定体験 (クリアランスベンチ展示) ・ストロー飛行機を作って飛ばそう!
8/22 (土)	O・TA・I・KO 響2026 「伝統と創造の共鳴」 15:00～21:00(雨天決行)	オタイコ・ヒルズ野外ステージ (丹生郡越前町下河原 37-19-1)	写真キーホルダー (数量限定のためなくなり次第終了)



＜本資料のお問合せ先＞
日本原子力発電株式会社(略称:げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2丁目9-16



げんでん いんふおめーしょん 8月号



2026 年 8 月 3 日
No.264

げんでん LINE
公式アカウント
お友達登録(無料)
はこちら▼



1. 敦賀発電所の状況(2026 年 8 月 3 日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型) 	●廃止措置中(2017 年 4 月 19 日～2047 年度) ○2015 年 4 月 営業運転終了 ○第7回定期事業者検査中(2026 年 4 月 6 日～未定※) ※その他主要設備の内, 廃棄物処理建物換気系の排風機1台(全2台)の検査に必要な設備の交換に時間を要するため。また, その他原子炉の附属施設の内, 非常用蓄電池1台(全2台)の検査に必要な設備の交換に時間を要するため。
2号機(加圧水型) 	電気出力 116.0 万 kW, 1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0 億 kWh ●第18回定期検査中(2011 年 8 月 29 日～) ●新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ○追加調査実施中(2025年9月16日～) 本紙2ページ目に詳しく掲載しています。

2. 敦賀発電所 3,4 号機準備工事の状況(2026 年 8 月 3 日)

第7次エネルギー基本計画では, 「再生可能エネルギーと原子力をともに最大限活用していくこと」が明記されています。当社は, 国と事業者間での革新軽水炉に関する議論を踏まえ, 引き続き検討を進めてまいります。また, 本計画には地域の皆さまから大きな期待が寄せられており, 実現に向けた取り組みを継続してまいります。



建設予定地の状況(2026 年 7 月 27 日撮影)

3. トピックス

(1) 2026 年度 敦賀発電所 安全大会を開催

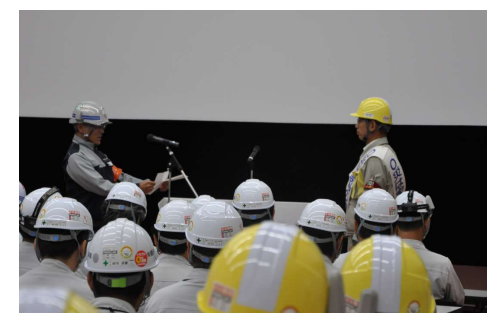
7月3日, 「全国安全週間」行事の一環として, 「敦賀発電所安全大会」を開催しました。冒頭, 寺谷敦賀発電所長から, 「今年は敦賀発電所安全衛生推進協議会創立 50 周年を迎えます。ルール遵守と基本動作の徹底, 作業前のリスクアセスメントの充実, 相互コミュニケーションの活性化により, 災害防止に努めていきたい」との訓示がありました。続いて, 村松社長から, 「現場の安全は, 皆さん一人ひとりの行動にかかっています。引き続き, 安全最優先の行動を徹底してください」との訓示がありました。その後, 無災害表彰および協力会社代表による安全宣言を行いました。大会の締めくくりとして, 2026 年度の全国安全週間スローガン「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」を参加者全員で唱和し, 無事故・無災害を誓いました。



寺谷敦賀発電所長による訓示



村松社長による訓示



安全宣言の様子